

在宅医療及び在宅緩和ケアの実態に関するアンケート調査

※本アンケートは、本年9月1日時点で施設基準の届出をしている医療機関にお送りしています。

【回答に際してのお願い】

- ◆ 実際に診療を行っている医師のうち、貴院を代表できる方（診療科は問いません）からの回答をお願いします。
- ◆ 特に断りのない場合は、本年10月1日現在の状況についてお答えください。
- ◆ 該当する選択肢の番号に○をつける等、各問の案内に沿って御記入ください。「その他」を選択した場合は、内容を御記入ください。

【本調査における言葉の定義】

訪問診療	日頃から医師が定期的に患者の自宅等へ訪問し、計画的に診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を行うこと
往診	突発的な病状の変化に対して、患者の依頼により緊急的に自宅等に行き、診療を行うこと
在宅緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、精神心理的問題、社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティ・オブ・ライフ（QOL:生活の質）を改善するアプローチを在宅にて行うこと
ACP（アドバンス・ケア・プランニング）	今後の治療・療養について、患者・家族と医療・介護従事者があらかじめ繰り返し話し合っておく自発的なプロセス

問1. 貴医療機関の基本情報についてお伺いします。

1-1. 医療機関名			
1-2. 本年7～9月の外来延べ患者数 (初診+再診、整数記入)	本年7月 人	本年8月 人	本年9月 人

問2. 在宅医療（訪問診療・往診）の実施状況と今後の実施見込みについてお伺いします。

2-1. 現在、訪問診療や往診を行っていますか（あてはまるもの1つに○）。

- 1 訪問診療も往診も
行っている 2 訪問診療のみ行って
いる 3 往診のみ行っている 4 訪問診療も往診も
行っていない

2-2. 今後（5年後）、在宅医療を行っていると思いますか。また、そのように考える理由は何ですか（あてはまるもの1つに○）。

1 行っていると思う 2 行いたいと思うが、行っていないと思う 3 行っていないと思う

1 を選択した方のみ御回答ください
（複数回答可）

2・3 を選択した方のみ御回答ください（複数回答可）
また、「2-4.」以降をお答えください

- 1 外来通院患者からの希望がある
- 2 他の医療機関から訪問診療等の依頼（紹介）がある
- 3 対象となる患者が今後増加すると思われる
- 4 多職種と連携をうまくとれば、少ない負荷でできそう
- 5 地域や社会から在宅医療が求められている
- 6 国が地域包括ケアシステムの構築を推進している
- 7 経営状態が良くなりそう
- 8 その他（ ）

- 1 在宅医療を行う医師等がない
- 2 後方支援医療機関と連携できていない
- 3 多職種との連携が不足している
- 4 患者のニーズがない
- 5 知識・技術に不安がある
- 6 体力・気力に不安がある
- 7 年齢的に自信がない
- 8 後継者がいない
- 9 訪問用の医療機器が確保できない
- 10 得られる診療報酬に比べ負担が大きい
- 11 その他（ ）

2-3. 2-2. で「1 行っていると思う」と回答した方に伺います。今後（5年後）の、在宅医療の受入見込みについてお答えください（あてはまるもの1つに○、1の場合は1か月当たり増やせる患者数を記入）。
なお、現在ゼロから在宅医療を始める場合も含めます。

- 1 現状との比較で、患者数を増やせる → 1か月当たり増やせる患者数は 約 _____ 人/月
- 2 現状との比較で、患者数を増やせない

2-4. 在宅医療の提供件数を増やすには、何が必要だと思いますか（あてはまるもの3つまでに○）。

- 1 自院の在宅医療に関わる医師の増員
- 2 自院の在宅医療に関わる医師以外のスタッフの増員
- 3 在宅医療を行う診療所との連携
- 4 訪問看護ステーションとの連携（提携先事業所を増やすなど）
- 5 病院との連携
- 6 在宅療養支援診療所の届出を行う等による診療報酬の増収確保
- 7 退院後のスムーズな在宅移行の実現
- 8 （提供側の体制はあるので）患者・家族への周知と需要・ニーズの発掘
- 9 訪問診療に係る現行の診療報酬の引き上げ
- 10 訪問診療に係る現行の診療報酬の引き下げ（患者の負担を軽減するためなど）
- 11 その他（ ）

問3. ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実施状況についてお答えください

3-1. ACPを実施していますか（あてはまるもの1つに○）。

- 1 実施している 2 実施していない 3 ACPを知らない

3-2. 3-1. で「2 実施していない」と回答した方にお聞きします。実施していない理由は何ですか。

問4. 他の医療機関や介護事業所等との連携状況についてお伺いします。

4-1. 他の医療機関や介護事業所との間で、患者に対する情報をどの程度やりとりしていますか。太枠の中についてそれぞれ◎、○、△、×のいずれかでお答えください。

◎：週に数回 ○：月に数回 △：適宜 ×：なし

自施設以外の 医療機関 (病院)	自施設以外の 医療機関 (診療所)	薬局	PTやOT等 のリハビリ	訪問看護 ステーション	居宅介護支援 事業所	地域包括支 援センター	訪問介護 事業所	歯科 医療機関	その他 (施設など)

4-2. 他の医療機関や介護事業所との協力・連携について、どの程度できていると思いますか。太枠の中についてそれぞれ◎、○、△、×のいずれかでお答えください。

- ◎：必要な協力・連携ができている
○：ある程度協力・連携しているが、やや課題がある
△：あまり協力・連携していないが、今後よりしていきたい
×：あまり協力・連携しておらず、現状その必要も高くない

自施設以外の 医療機関 (病院)	自施設以外の 医療機関 (診療所)	薬局	PTやOT等 のリハビリ	訪問看護 ステーション	居宅介護支援 事業所	地域包括支 援センター	訪問介護 事業所	歯科 医療機関	その他 (施設など)

在宅医療を提供していない施設(「2-1.」で選択肢4を選択した施設)は、以上となります。
問7の自由意見について、ぜひ御回答ください。

※以降は、現在在宅医療を提供している施設のみ御回答ください(「2-1」で選択肢1・2・3を選択した施設のみ)

問 5. 在宅医療等の実施状況についてお伺いします。

5-1. 在宅医療に対応している職員についてお答えください。

在宅医療のため患者宅に訪問する常勤換算職員数 【数値記入、小数第1位まで】	医師	薬剤師	看護師	その他(医療事務等)
	人	人	人	人
在宅医療を行う医師の年齢別人数	39歳以下 (人)	40歳代 (人)	50歳代 (人)	
	60歳代 (人)	70歳代 (人)	80歳以上 (人)	

5-2. 在宅医療の実施状況をお答えください。

(※②⑧における「自宅」とは自宅及びサービス付き高齢者向け住宅としてください。)

本年9月の1か月の実績	①在宅医療の対象患者数(実人数)	人	
	②うち、自宅で療養されている方 ※	人	
	③総訪問回数	訪問診療	回
		往診	回
	④訪問診療や往診に対応している日数(1週間あたり)	日	
⑤最も距離が遠い患者宅までの自動車での移動時間	片道 約 分		
1年間(昨年10月～本年9月)の実績	⑥在宅医療の対象患者のうち、亡くなられた方(場所問わず)	人	
	⑦うち、在宅(病院、有床診療所以外)で亡くなられた方	人	
	⑧うち、自宅で亡くなられた方 ※	人	

5-3. 対応している在宅医療の処置についてお答えください(あてはまるもの全てに○)。

1 麻薬管理	9 在宅酸素療法
2 経鼻経管栄養	10 人工肛門ケア・人工膀胱・尿管皮膚瘻
3 胃ろう・腸ろう管理	11 褥瘡処置
4 在宅中心静脈栄養	12 褥瘡以外の創傷管理
5 精密輸液ポンプ管理	13 腹水排液
6 膀胱留置カテーテル(男性のみ)	14 在宅人工呼吸器管理
7 膀胱留置カテーテル(女性のみ)	15 リハビリテーション指導
8 膀胱留置カテーテル(男性・女性両方)	16 その他()

5-4. 対応可能な疾患についてお答えください(あてはまるもの全てに○)。

1 がん疾患	5 認知症
2 脳血管疾患	6 精神、神経疾患(認知症除く)
3 循環器・呼吸器疾患	7 整形外科疾患
4 糖尿病	8 その他()

5-5. 特に在宅での看取りにおいて、医療・介護提供側で問題・課題になっていることをお答えください（あてはまるもの全てに○）。

- 1 ACPや在宅看取りなどについて、患者や家族に理解を深めてもらうことが難しい（時間が確保できない等）
- 2 自院の医師や看護師等、医療従事者のスキル・ノウハウに不安がある
- 3 連携先の医師や訪問看護師等、医療従事者のスキル・ノウハウに不安がある
- 4 連携先のヘルパー等、介護従事者のスキル・ノウハウに不安がある
- 5 自院の医師や看護師等、医療従事者の人手が不足している
- 6 その他（ ）

5-6. 特に在宅での看取りにおいて、患者・家族等側の問題・課題として実際に起こったことをお答えください（あてはまるもの全てに○）。

- 1 在宅での看取りに関する知識・理解が、患者になかった
- 2 在宅での看取りに関する知識・理解が、同居家族になかった（反対された）
- 3 在宅での看取りに関する知識・理解が、非同居の親類等になかった（反対された）
- 4 独居で親族の支援等がなく、在宅での生活の継続そのものが困難だった
- 5 在宅での看取りに関する知識・理解が、患者の在宅生活を支える看護・介護職員になかった（反対された）
- 6 その他（ ）

5-7. 病院での退院時カンファレンス（退院後の受入先医療機関等との情報共有のために行うカンファレンス。以下、同じ）への医療従事者の参加状況についてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- 1 毎回参加する 2 日時が合う時のみ参加する 3 参加したことはない

2・3を選択した方のみ、その理由を教えてください。（自由記述）

5-8. 退院時カンファレンスについて、円滑な在宅医療への移行のために望ましいと考える開始時期をお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1 入院前 | 2 入院後1週間以内 | 3 入院後2週間以内 | 4 入院後1か月以内 |
| 5 退院の1週間前 | 6 退院の数日前 | 7 退院直前 | 8 わからない |

5-9. 退院患者を在宅医療に円滑に受け入れられたかどうかについてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------|-------------------|
| 1 大半のケースにおいて円滑に受け入れられた | 2 半数のケースにおいて円滑に受け入れられた | 3 あまり円滑に受け入れられなかった | 4 全く円滑に受け入れられなかった |
|------------------------|------------------------|--------------------|-------------------|

5-10. 退院患者の在宅医療への円滑な移行を阻む理由についてお答えください（あてはまるもの3つまでに○）。

- 1 患者本人には在宅療養の希望があるが、家族への気兼ね（迷惑をかけたくない等）がある
- 2 家族からの反対がある
- 3 在宅で介護できる家族・親戚がいない
- 4 患者本人や家族に主治医（担当医）が代わることにに対する不安がある
- 5 病院が在宅医療に関する注意事項（日常の処置、投薬、医療機器等）を患者に伝えきれない
- 6 病院に退院支援を十分に行う余裕や体制がない
- 7 病院に退院支援を行うスキルを持っている医療従事者が不足している
- 8 かかりつけ医等、地域の医療・介護スタッフとカンファレンスを十分に実施できていない
- 9 病院が在宅医療に積極的ではない（訪問診療等を積極的に行わないなど）
- 10 病院スタッフの在宅医療に対する知識・理解が不足している
- 11 地域に緩和ケアに必要なスキルを持っている医療従事者が不足している
- 12 地域に患者の看取りができる医療従事者が不足している
- 13 地域において、在宅医療やケアに必要な医療機器や薬剤等の医療資源が不足している
- 14 在宅医療の受け手側（診療所、訪問看護ステーション等）に退院支援を十分に行う余裕や体制がない
- 15 患者の急変時の対応が難しい
- 16 その他（）

問 6. 在宅緩和ケアの実施状況と今後の実施見込みについてお伺いします。

6-1. 貴院の在宅緩和ケアの実施状況についてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

1 緩和ケアに対応している

2 緩和ケアに対応していない

「6-2.」以降をお答えください。

「6-8.」以降をお答えください。

6-2. 対応している在宅緩和ケアの内容についてお答えください（あてはまるもの全てに○）。

- 1 非オピオイド鎮痛薬（アスピリンやアセトアミノフェン等）による疼痛緩和
- 2 弱オピオイド（コデイン、トラマドール等）による疼痛緩和
- 3 強オピオイド（モルヒネ等）による疼痛緩和
- 4 硬膜外カテーテルによる疼痛管理
- 5 クモ膜下カテーテルによる疼痛管理
- 6 鎮痛薬等の副作用の管理（嘔吐、便秘など）
- 7 がん患者の呼吸困難緩和
- 8 がん患者の倦怠感緩和
- 9 がん治療（抗がん剤など）の副作用治療
- 10 がん患者への抑うつへの対応
- 11 がん患者のせん妄への対応
- 12 家族の精神的サポート

6-3. 在宅緩和ケアを実施している患者数をお答えください（本年9月の1か月間の実績）。患者がいない場合は0人と御回答ください。

がん疾患の患者数(実人数)	外来	人	在宅	人
がん疾患以外の患者数(実人数)	外来	人	在宅	人

6-4. 担当している在宅緩和ケア患者の主な状況について、おおよその割合をお答えください。なお、全て合わせて10割になるようにお答えください。

診断初期	割
治癒を目指した治療期	割
延命や症状緩和のみを目指した時期	割
看取りを含めた、いわゆる終末期	割

6-5. がんの場合の具体的な疼痛緩和方法についてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- 1 WHO方式がん性疼痛治療方
法を実施している 2 WHO方式がん性疼痛治療方
法を実施していない 3 WHO方式がん性疼痛治療方
法を知らない

・ 自院の方式の有無
あり なし

6-6. 麻薬施用者免許を保有していますか（あてはまるもの1つに○、1の場合は保有者の人数を記入）。

- 1 保有している（ 人） 2 保有していない

6-7. 在宅緩和ケアを提供する上で難しさを感じることの有無についてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- 1 大半の患者について
難しさを感じる 2 半数の患者について
難しさを感じる 3 あまり難しさを感じ
ない 4 全く難しさを感じな
い

1・2を選択した方のみ御回答ください（複数回答可）

- | |
|---|
| 1 オピオイド製剤の迅速な入手が困難 |
| 2 オピオイド製剤の在庫管理が困難 |
| 3 オピオイド製剤の残薬管理が困難 |
| 4 オピオイド製剤の使い分けが困難 |
| 5 オピオイド製剤の使用機材の迅速な入手が困難 |
| 6 オピオイド製剤の使用機材の使い分けが困難 |
| 7 オピオイド製剤の使用機材の在庫管理が困難 |
| 8 処方箋発行医療機関の医師・病院、又はかかりつけ医師・病院との情報共有が困難 |
| 9 患者及び家族の現在の状態・病状に対する理解が不十分 |
| 10 患者及び家族に対し、現在の状態、病状を説明することが困難 |
| 11 薬剤師の人手不足のため対応が困難 |
| 12 患者にかかわる医療・ケアスタッフの緩和ケアに関する最新の知識が不十分 |
| 13 採算性が悪い |
| 14 その他（ ） |

6-8. 在宅緩和ケアに関する知識の充足状況についてお答えください（あてはまるもの1つに○）。

- 1 充足している 2 やや充足している 3 やや不足している 4 不足している

6-9. 今後（5年後）、在宅緩和ケアを行っていると思いますか（あてはまるもの1つに○）。また、そのように考える理由は何ですか。

- 1 行っていると思う 2 行いたいと思うが、行っていないと思う 3 行っていないと思う

1 を選択した方のみ御回答ください
(複数回答可)

2・3 を選択した方のみ御回答ください
(複数回答可)

- 1 外来通院患者からの希望がある
- 2 他の医療機関から訪問診療等の依頼（紹介）がある
- 3 対象患者が今後増加すると思われる
- 4 多職種と連携をうまくとれば、少ない負荷できそう
- 5 地域や社会から在宅緩和ケアが求められている
- 6 経営状態が良くなりそう
- 7 その他（ ）

- 1 在宅緩和ケアを行う医師等がない
- 2 後方支援医療機関と連携できていない
- 3 多職種との連携が不足している
- 4 麻薬を取り扱っていない、麻薬処方箋を発行していない
- 5 患者のニーズがない
- 6 知識・技術に不安がある
- 7 体力・気力に不安がある
- 8 年齢的に自信がない
- 9 得られる診療報酬に比べ負担が大きい
- 10 その他（ ）

6-10. 在宅緩和ケアを推進していくうえで必要だと思うことについてお答えください（あてはまるもの全てに○）。

- 1 患者・家族に対する情報提供や意識啓発
- 2 緩和ケアに関する患者・家族向けの相談窓口設置
- 3 地域で利用できるサービスが一目で分かる冊子やホームページ作成
- 4 病院の緩和ケアチーム等の体制充実
- 5 病院の緩和ケアチーム等のスキルアップ
- 6 病院の緩和ケアチーム等とのカンファレンスの強化
- 7 グループ診療体制等、他の医療機関等との体制面の連携
- 8 緩和ケアを専門とする医師等との勉強会（講義・グループワークなど）
- 9 緩和ケアの知識向上（テキスト配布・e-learning など）
- 10 緩和ケアに携わる医療従事者等に対するメンタルケア教育の体制充実
- 11 診療報酬の引き上げ
- 12 診療報酬の引き下げ（患者の負担を軽減するためなど）
- 13 その他（ ）

6-11. 在宅緩和ケア全般に関する課題があれば、御自由にお書きください。

問 7. 在宅医療全般に関する課題についてお伺いします。

7-1. 在宅医療全般に関する課題があれば、御自由にお書きください。

御協力ありがとうございました。

この回答用紙を、返信用封筒にて御返送ください。